

特集

自由な時間と働くこと

私の「自由な時間と働くこと」

私の愛する食、サスペンス、そして音楽

東京・特別支援学校教員 神野 愛



私の余暇は大きく分けて3つ。食とサスペンスドラマ、そして音楽です。

まず食。外で飲み食いすることが多かった私ですが、新型コロナウイルス流行下で新しい職場に異動し、となりの席になった20代男子はいわゆる「女子力」の塊。定時で帰っていたころは、毎日16時半ごろから「今日の夜ご飯は何作るんですかあ？」と尋問タイムが始まりました。そうすると私の中の変なプライドが「えーと、冷蔵庫に○○と○○があるから…」と答えるよう脳に指令を出してきます。追い込まれた私はYouTubeで見つけた料理研究家たる人物に助けられ、積極的に自炊をするようになりました。やり始めるとこれがおもしろい。定時に帰れると健康に暮らせるんだと実感しました。

次にサスペンスドラマ。これは子どものころから好きで、平日の再放送も録画しておいて見たりするほどです。前任校では物隠しがありました。が、「ほかの先生にも言っていないんだけど、昔科捜研で

3年間研修を受けたんだよね…」と始め、数値を交えたいろいろな知識をひけらかすことにより、円満解決に結びつけてきました。

最後に音楽。小さいころ車の中でかかっていたアリス、中高生のころ聴いたカーペンターズやビートルズ、バイト先の写真屋で流れていたスピッツやイエモン、友人の薦めで聴いたRCサクセションやブルーハーツ。歌詞やメロディ、リズムが私を奮い立たせてくれました。社会人になってからはライブにも出かけ、「MCでの魅せ方」みたいなことも授業づくりの参考にしてきました。かくいう私も今はドラムを習っていて、教員仲間とバンドを組んで楽しんでいます。

子どもたちの指導計画に「好きなものや励みになるものを増やす」なんて書くこともあります。それはきつと私たち大人も同じですね。

(かみの あい)

*写真は、いつも生徒の特性に合わせて、絶妙なトークを織り交ぜながら教えてくれる師匠とのヤラセ写真です

みなさん、自分の時間を楽しんでいますか？

どこも人手不足、煩雑な事務作業などに追われ、肝心の子どもや仲間の話が十分にできない。忙しさのなか、仕事以外の時間を楽しむ余裕もない…そんな悩みを抱えている方も多いのではないのでしょうか。

今回の特集では、「自由な時間」と「働くこと」について考えてみたいと思います。いろんな立場のみなさんが語る趣味や仕事のエピソード、そして作業所で働く仲間たちの姿から自分らしく生きるヒントを探ってみませんか。

「明日も、がんばろうかな」そんな気持ちが湧いてくる特集です。

私の「自由な時間と働くこと」

私の「がんばれる素」

岐阜支部 中村進一



毎日の仕事のこと

私の働いている工場では、ゴルフボールの製造をしています。私の担当している仕事は、主に「品質管理」です。簡単に説明すると、生産しているゴルフボールが決められた通りにちゃんと造られているかどうかを確認し、問題があれば連絡をして、機械の調整や修正をしてもらいます。工場は休日以外は24時間稼働していますが、私は日勤として、朝8時半から夕方までの8時間働いています。

最近では、後輩の社員に仕事を教える立場になることもあり、どう教えてあげたら上手く相手に伝わるのかなど考えることも多くなってきました。

仲間と飲み食べ、野球も！

そんな私の「がんばれる素」はいろいろな仲間との会食なのですよ。最近、新型コロナウイルスの世の中になってしまつて…。職場の忘年会すら中止になってしまっていますから、目に見えないウイルスは本当に厄介ですね。それまでは集まつて、しゃべって飲んで、食べて無

事を確認し合っていたのに(笑)。

野球のシーズンが始まれば、ドラゴンスを応援するのが日課になります。工場での休憩時間は、ほぼ昨日の試合がどうの今日の先発が誰で…と勝手に予想をして、楽しんでいきます。負けが続くとストレスにもなりますが…。自然とファン同士集まつてしゃべるのもおもしろいものです。

そして、全障研を知るきっかけとなった全国大会の参加も私の「がんばれる素」。大会の開催地が遠方になれば費用等もあり1年がかりで準備をする年もあります。台風から逃げるように帰ってきた経験もありますが、開催地に行ってお互いの顔を見て、また1年ががんばる！ そんな生活でしたが…。

新型コロナウイルスで、リモートが多くなり、なかなか馴染めないのが正直なところですよ。また、感染対策とはいえ、私にはマスクを歩行はつらいものです。新型コロナウイルス収束を願つこの頃です。

(なかむら しんいち)